

## あいさつ、清掃を通して、児童生徒の主体性を涵養する

ねがい

### 〈目的〉

小・中が地域と連携しながら、朝のあいさつ運動や地域清掃活動に取り組む中で、がんばった児童生徒をほめ、自己存在感や自己有用感を高めることを目指した取り組みを行いました。

つながり

### 〈内容〉

#### ● 地域との連携を図ったあいさつ運動やクリーン活動

宇多津町では宇多津教育ソリューションシステムの取り組みを始めています。なかま部会「コミュニケーションスキル育成プロジェクト」では、長期目標「人とつながり、分かり合う言葉かけや態度が身に付く子どもの育成」に加えて、発達段階ごとの短期目標を設定しました。

↓  
ステージⅠ（～小1）「家族や友だちや先生に元気のよいあいさつをする」

ステージⅡ（～小5）「家族や先生、友だち、地域の人に自分からあいさつをする」

ステージⅢ（～中3）「時や場所、相手に応じた気持ちのよいあいさつをする」

小・中とも朝のあいさつ運動に力を入れています。町サポートチームや保護者、児童会・生徒会役員などが正門付近に立ち、登校してくる児童生徒と大きな声であいさつを交わしています。

また、小・中が町一斉清掃の日に各自治会の清掃活動に参加し、地域の人たちとともに地域クリーン活動に取り組みました。駅前清掃にも多くの児童生徒が参加しました。

#### ● よりよい集団づくりを育む目標をもった清掃活動

宇多津中学校では「香川県一そうじを一生懸命する学校にしよう」を合言葉に、「早くとりかかり・無言で・時間いっぱい」の3つの目標を掲げて、年間5回の清掃強調週間の取り組みを行いました。パーフェクトを達成した生徒にはバッジを贈呈することにしてあります。清掃委員会が取り組み状況を廊下に掲示したり、結果を校内放送で全校生徒に伝えたりしました。

宇多津北小学校では、児童会が中心となり、清掃方法の周知のため作業の手順表を作成しました。また、清掃委員会から、がんばっている学級を校内放送で讃ええました。

また、宇多津小学校では「口にシャッター、手にエンジン」という黙目清掃のキャッチフレーズをつくり、児童と教員と一緒に清掃するという取り組みを行っています。

3学期には中学校のリーダーたちが両小学校へ赴き、小学生とともにあいさつ運動をしたり、清掃方法を教えたりする取り組みをスタートさせます。黙目清掃のコツを中から小に伝えることで、家庭でも清掃名人になってほしいと願っています。



【あいさつ運動】



【トイレ清掃】

高まり

### 〈成果〉

地域の協力のもと、集団の力を活かす取り組みを行うことで、児童生徒の意識は少しずつ向上しています。活動結果の高まりが児童生徒の自信につながり、自尊感情の高まりとなることを期待しています。中学校の清掃強調週間の取り組みでは、パーフェクト達成率が次のように向上しました。

6月・38.3% → 9月・62.8% → 10月・68.6% → 11月・71.5%

児童生徒が、目標を目指して努力し、努力した結果についてほめられる体験を積み重ねることで、自己存在感や自己有用感の涵養につなげるとともに、自分からあいさつや清掃をすることの心地よさを味わわせることができました。